

# 図書館だより

ノートルダム学院小学校

## 啓 蟄

2018.3.1 (木)

No.11

けいちつ  
啓蟄とは（例年3月6日頃、2018年は3月6日）



けい ちつ どちゅう  
啓は「ひらく」、蟄は「土中で冬ごもりしている  
むし いみ だいち あたた とうみん  
虫」の意味で、大地が暖まり冬眠していた虫が、  
おとず あな ころ  
春の訪れを感じ、穴から出てくる頃のことをいい

こも けいちつ こうれいぎょうじ  
ます。菰はずしを啓蟄の恒例行事にしているところが多いですね。

ことし きょくたん きおん さ さむ じせつ  
今年の冬は極端に気温が下がり、まだまだ寒い時節ではありますが、  
ひとあめ きおん ひざ じょじょ あたた しゅんらい  
一雨ごとに気温が上がり、日差しも徐々に暖かくなってきます。春雷が  
じき  
ひときわ大きくなりやすい時季でもあります。

じっさい どうぶつ むし しゅるい ちが  
※実際に、動物や虫（種類によって違いますが）  
とうみん めざ さいていきおん  
が冬眠から目覚めるのは、最低気温が5度を下  
へいきんきおん  
回らなくなってから平均気温が10度以上にな  
ってからだそうです。





6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。6年間の色々な思い出と、たくさんの友だちをいつまでも大切にしてください。

みなさんは多くの本を読みましたね。一番心に残っているのはどんな本でしょうか。中学生になってもたくさん本を読んでくださいね。

< 6年間の貸し出し数ベスト10 (2月16日現在) >

①R24	川島	好さん	1252冊
②R21	米川	茉央さん	889冊
③R24	田原	詩子さん	871冊
④R23	村本	千羽瑠さん	764冊
⑤R21	間宮	茉央さん	747冊
⑥R24	土肥	怜馬くん	739冊
⑦R23	鷺崎	善くん	700冊
⑧R24	水野	聖心さん	655冊
⑨R21	大西	花音さん	606冊
⑩R24	宮本	真子さん	550冊



この本 読もう

内田麟太郎さんの書かれた『ともだちシリーズ絵本』が図書館入ったところに集めてあります。オオカミとキツネのコンビを描いた主人公に、動きあふれる画面とユーモアあふれる文章で、つつい絵本の世界にひきこまれます。テーマは友だちとの交流。低学年のクラスで起こりそうなお話です。みなさん、ぜひ読んでみてください。

